

防災マップが完成しました！

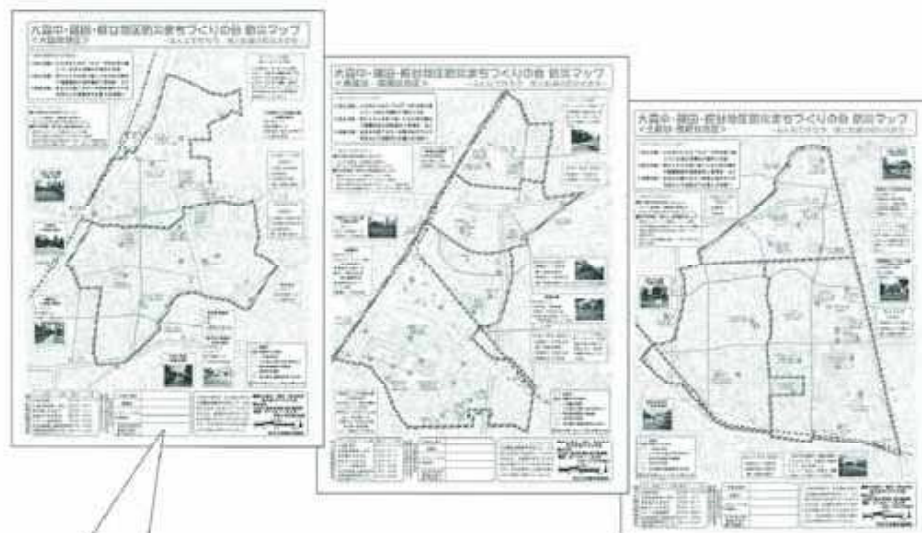
防災まちづくりの会では、防災まちづくりフェアの準備と並行して、防災マップの作成を進めてきました。この防災マップは、この街にすむ私たちにとって、防災に役立つ情報を、日頃から把握しておくために作成したものです。次の3つの視点によりまとめています。

3つの視点

- ① **消火活動**：火を消すための“みず”や町会等で備えている消火用機材の場所と内容
- ② **救出活動**：倒れたものを取り除くための防災機材や備蓄施設の保管場所と管理者 など
- ③ **避難活動**：身近な公園である一時集合場所や小中学校などの避難所の位置と区域割り

マップの記載内容

- 防火水槽（40 t 以上／40 t 未満）
- 防災機材倉庫（町会管理）
・消火用機材／救出用機材
- 災害時備蓄倉庫（町会管理）
- 避難所（小中学校）とその区域割り
- 一時集合場所／その他の公園・広場
- 地区防災道路（まちづくりの会の提言による）
- 困った時の連絡先／我が家の防災メモ



大森中／蒲田／糀谷の3地区に分けました。（A2版／カラー）このニュースと一緒に配布しています。

～問合せ先～

大田区 都市環境部 都市整備課 市街地整備

大田区蒲田5-13-14 電話 5744-1338

大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりニュース NO.6

平成13年3月

大森中地区 防災生活圏促進事業

編集：大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会

発行：大田区 都市環境部 都市整備課

防災まちづくりの会の活動の様子をご紹介します！

～防災まちづくりフェアの開催＆防災マップづくり～

私達、防災まちづくりの会では、昨年10月の会設立後、この街にお住まいの方に防災まちづくり活動への関心・防災意識の向上を呼びかけることを目的として、「防災イベントの開催（＝防災まちづくりフェア）」準備と「防災マップづくり」を中心に活動を進めてきました。

活動にあたっては、会員が「イベント班」と「マップづくり班」に分かれて検討を進めました。

イベント班では、町会・自治会での防災訓練の良い所、課題等をふまえ、「どんな内容としたら良いか」「誰がどんな準備を行うか」など、様々な視点から検討を行い、会員それぞれが役割を担い、準備等を進めてきました。

マップづくり班では、「何のために作るのか」「どんな情報がついていると役立つか」等の視点から検討を進め、白地図上に防災に役立つ情報を落としながらイメージを深めていきました。

今回の活動は、一度行って終わりという性格のものではありません。今後、会の活動の充実にあわせて、さらに継続・改善していきたいと考えています。今回の活動の成果を第2～4面にご紹介します。ぜひ、ご覧下さい。



防災まちづくりフェアを開催しました！ ～みんなで作ろう、僕と私達の防災のまち～

去る3月4日の日曜日、東蒲中学校体育館1階柔剣道場にて、私たち防災まちづくりの会の主催により、大森中・蒲田・稲谷地区防災まちづくりフェアを開催いたしました。

当日は風や雨が強いという悪天候だったため、校庭で行う予定であったプログラムは、残念ながら中止となりましたが、会員及び町会・自治会、PTA等協力者の皆さんを交え、子供から大人まで230名以上ものたくさんの方々に参加いただき、改めてこの街の方々の防災に対する意識の高さ、関心の大きさを感しました。

また、準備・運営に携わった会員や協力者の皆さん、参加していただいた皆さんの熱気が通じたのが、途中から天候も良くなり、なごやかで楽しいひとときを過ごすことができました。

●西糺谷二丁目町会の子供たちが防災フェアのポスターを作ってくれました。力の入った作品をありがとうございました。



○意見交換会パネラーの方の意見（宮地さん、岸本さん）

・地震直後は家族と電話連絡を取れたが、その後は一切不通となり、情報が全く遮断されてしまった。今は、携帯電話が普及しているが、災害時にはたぶん役に立たないだろう。

・被災地ではみんな必死だったのに、電車に乗るために1時間以上歩いて大阪の駅にたどり着いた時、何事もなく人々が生活していることがショックだった。

・東京に越してきて、皆さんが日頃の取組みに力を入れていることは素晴らしい。ただ、町会だけでなく、地域の中学生など若い人たちの関心、協力を高めてほしい。



●まちづくりの会の会員からは、日頃の地域での防災活動や我が家での備え等が紹介されました。皆さんのお宅での取組みの参考になりましたか。



●南蒲田一丁目自治会のご協力により、暖かいすいとんを作ってくださいました。強い雨の中、本当にご苦労さまでした。参加者の皆さんとお話しできたおかげで、体も気持ちも温まることができました。

②

●防災まちづくりに関する意見交換も大盛況。阪神・淡路の体験者2名の方に当時の様子を話していただきました。この中で、改めて地震直後の落ち着いた行動や近所づきあいの大切さ等を再確認しました。

～当日のプログラム～

～開会～

全体司会 防災まちづくりの会 副会長 清田 勝廣

1. ごあいさつ

防災まちづくりの会 会長 松原 茂登樹
大田区 助役 齋藤 貴
東蒲中学校 校長 原田 順弘

2. 防災まちづくりに関する意見交換会

①防災に関するビデオ上映（阪神・淡路大震災の様子）
②専門家と阪神淡路の体験者、まちづくりの会会員による意見交換会

進行役（財）市民防災研究所 井上 浩一 さん

パネラー 宮地 俊郎 さん

岸本 智子 さん

防災まちづくりの会 会長 松原 茂登樹さん

会員 杵淵 優子 さん

会員 四戸 美佐子さん

3. 防災グッズづくり

～身近な道具による“非常用あかり”の作成～

4. 防災クイズにチャレンジ！

～〇×形式の防災クイズ、景品も出しました～

～南蒲田一丁目自治会のご協力による“すいとんコーナー”～

～区や防災まちづくりの会等の活動紹介（パネル展示）～

～閉会～

●アルミホイルやティッシュ、サラダ油等、身の回りの品を用いて、“非常用あかり”を作りました。ろうそくがないなど“いざ”という時に備え、子供から大人までみんな真剣に取り組めました。



●将来のこの街を担っていく子供たちもたくさん来てくれました。防災に関する〇×クイズは役立ったかな？クイズに当て景品を抱えた子供たちも見受けられました。

この防災まちづくりフェアをきっかけに、今後、防災まちづくりの会は、皆さんのご協力を仰ぎながら、防災まちづくり活動の充実を図っていこうと考えております。

この会の活動に関心のある方、参加したい方は、お気軽に事務局（第4面の問い合わせ先）までご連絡ください！

③